



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日
東

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所
 コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西本 敬 (TEL) 043-350-0567
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	18,454	△6.6	2,264	△26.9	2,340	△27.2	1,418	△31.9
2021年3月期第3四半期	19,756	△1.0	3,098	29.9	3,214	32.1	2,082	27.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,517百万円(△30.1%) 2021年3月期第3四半期 2,171百万円(33.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	168.61	—
2021年3月期第3四半期	247.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	22,908	20,234	87.5
2021年3月期	24,536	19,631	78.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 20,034百万円 2021年3月期 19,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	76.00	76.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期(予想)				76.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	△2.4	4,000	△15.3	4,060	△16.5	2,740	△14.0	325.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	10,771,200株	2021年3月期	10,771,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,354,213株	2021年3月期	2,357,909株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	8,415,139株	2021年3月期3Q	8,411,006株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、ワクチン接種が進むにつれ将来の景気の持ち直しが期待される一方、同感染症の新たな変異種が発生し、各地で感染が再拡大するなど、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限に加え、生活防衛意識の高まりによる節約志向の上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは引き続き『従業員と顧客の安心と安全の確保を最優先とした上で、顧客の依頼に最大限対応する』ことを方針とし、従業員の健康管理の徹底、在宅勤務の推進やワクチン接種の推奨など感染予防対策に取り組み、事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高18,454百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業利益2,264百万円(前年同四半期比26.9%減)、経常利益2,340百万円(前年同四半期比27.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,418百万円(前年同四半期比31.9%減)となりました。

セグメントごとの業績は、以下の通りであります。

I 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスは、新規顧客の獲得や受注状況の回復などによる売上増加要因はありましたが、一部顧客において棚卸実施回数や発注店舗数の減少が発生したことにより、減収となりました。

営業利益では、サービス品質向上を目的としたオペレーションと組織体制の強化、次世代棚卸システム開発経費などによる販売管理費の増加により、減益となりました。売上高は11,291百万円(前年同四半期比1.4%減)セグメント利益は1,701百万円(前年同四半期比26.3%減)となりました。

II リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスは、自治体からの飲食店営業状況確認調査業務の受注、一部顧客での商品補充業務および店舗改装業務の受注店舗数増加など増収要因はありましたが、既存顧客の内製化による商品補充業務や店舗改装業務の受注店舗数減少の影響が継続し、減収となりました。

営業利益では、商品補充サービスと店舗改装サービスの生産性向上施策やバックオフィス業務の効率化などに取り組みましたが、内製化による売上減少の影響により、減益となりました。売上高は5,836百万円(前年同四半期比18.3%減)、セグメント利益は780百万円(前年同四半期比16.5%減)となりました。

III 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスは、アセアン地域での新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限の強化により、一定期間の事業停止や棚卸サービスの発注店舗数の減少による売上への影響が継続した一方で、東アジア地域では新規顧客の獲得や既存顧客からの受注店舗数が増加するなど売上が回復傾向に推移したことにより、セグメントでは増収となりました。

営業利益では、アセアン地域における事業停止や棚卸サービスの発注店舗数の減少などの影響が継続したことにより、損失額は増加しました。売上高は1,326百万円(前年同四半期比14.5%増)、セグメント損失は231百万円(前年同四半期は159百万円のセグメント損失計上)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は22,908百万円(前連結会計年度比6.6%減)となりました。これは、主として12月度が国内棚卸サービスにおける閑散期につき売上減少に伴い受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,673百万円(前連結会計年度比45.5%減)となりました。これは、上記の通り12月度の売上減少に伴い人件費の未払金が減少したこと、および未払法人税等を納付したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は20,234百万円(前連結会計年度比3.1%増)となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績経過は、概ね計画通りの推移となっております。現時点での通期業績予測につきましては、2021年5月14日に発表いたしました「2021年3月期決算短信」に記載の業績予測と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,296,108	13,385,133
受取手形及び売掛金	3,699,150	2,410,725
有価証券	305,990	500,034
貯蔵品	46,235	45,814
その他	234,906	300,159
流動資産合計	17,582,390	16,641,866
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	670,658	578,060
有形固定資産合計	1,947,053	1,854,455
無形固定資産		
のれん	77,667	56,485
その他	734,099	699,194
無形固定資産合計	811,767	755,680
投資その他の資産		
投資有価証券	3,489,998	2,957,734
その他	705,591	698,755
投資その他の資産合計	4,195,590	3,656,489
固定資産合計	6,954,410	6,266,625
資産合計	24,536,800	22,908,492
負債の部		
流動負債		
短期借入金	77,207	93,064
1年内返済予定の長期借入金	3,545	3,569
未払金	2,227,293	1,698,589
未払法人税等	1,164,008	79,027
賞与引当金	435,462	213,962
役員賞与引当金	5,440	6,233
その他	922,446	512,302
流動負債合計	4,835,404	2,606,749
固定負債		
長期借入金	4,112	1,432
退職給付に係る負債	8,141	7,992
その他	57,518	57,540
固定負債合計	69,772	66,964
負債合計	4,905,177	2,673,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	502,232	471,408
利益剰余金	22,003,505	22,782,987
自己株式	△3,733,302	△3,727,528
株主資本合計	19,247,434	20,001,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,917	71,324
為替換算調整勘定	△72,552	△39,101
その他の包括利益累計額合計	21,364	32,222
非支配株主持分	362,823	200,687
純資産合計	19,631,623	20,234,778
負債純資産合計	24,536,800	22,908,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	19,756,437	18,454,943
売上原価	13,512,559	12,721,479
売上総利益	6,243,877	5,733,464
販売費及び一般管理費	3,145,839	3,469,408
営業利益	3,098,038	2,264,055
営業外収益		
受取利息	23,355	24,992
受取配当金	8,286	5,630
為替差益	—	12,693
受取賃貸料	16,193	15,733
補助金収入	50,157	7,351
その他	29,551	19,772
営業外収益合計	127,545	86,174
営業外費用		
支払利息	422	1,729
為替差損	2,398	—
賃貸費用	7,668	7,820
その他	609	528
営業外費用合計	11,100	10,077
経常利益	3,214,483	2,340,152
特別損失		
固定資産除却損	163	116
特別損失合計	163	116
税金等調整前四半期純利益	3,214,319	2,340,036
法人税等	1,055,987	833,478
四半期純利益	2,158,331	1,506,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	75,364	87,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,082,967	1,418,892

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	2,158,331	1,506,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,324	△22,593
為替換算調整勘定	△41,085	33,179
その他の包括利益合計	13,238	10,585
四半期包括利益	2,171,570	1,517,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,097,221	1,429,750
非支配株主に係る四半期包括利益	74,349	87,393

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、四半期連結財務諸表に重要な影響を与える変更はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える重要な影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテールサポートサービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,457,513	7,140,407	1,158,516	19,756,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	43,549	74,383	—	117,933
計	11,501,063	7,214,790	1,158,516	19,874,370
セグメント利益又は損失(△)	2,308,977	933,985	△159,970	3,082,992

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,082,992
セグメント間取引消去	15,045
四半期連結損益計算書の営業利益	3,098,038

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテールサポートサービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,291,510	5,836,582	1,326,850	18,454,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	56,332	40,624	—	96,957
計	11,347,843	5,877,206	1,326,850	18,551,901
セグメント利益又は損失(△)	1,701,661	780,284	△231,465	2,250,480

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,250,480
セグメント間取引消去	13,575
四半期連結損益計算書の営業利益	2,264,055

3 報告セグメントの変更等に関する情報

(収益認識等に関する会計基準等の適用)

「(会計方針の変更)(収益認識に関する会計基準等の適用)」に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。なお、セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に与える重要な影響はありません。

以 上